

各 位

上場会社名 株式会社 デイトナ
 代表者 代表取締役社長 鈴木 紳一郎
 (コード番号 7228)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 中嶋 哲司
 (TEL 0538-84-2200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年2月14日付当社「平成25年12月期決算短信[日本基準](連結)」において公表した平成26年12月期(平成26年1月1日～平成26年12月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,331	347	331	201	95.79
今回修正予想(B)	5,685	316	320	192	91.51
増減額(B-A)	△646	△31	△10	△9	
増減率(%)	△10.2	△9.0	△3.3	△4.5	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	5,791	364	369	178	84.85

平成26年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,931	349	219	104.23
今回修正予想(B)	3,799	316	199	94.88
増減額(B-A)	△131	△32	△19	
増減率(%)	△3.3	△9.4	△9.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年12月期)	3,704	408	255	121.21

修正の理由

通期の連結業績予想については、国内拠点の卸売業および小売事業ともに4月の消費税増税後の反動減からの戻りが鈍く、連結売上高は、当初予想から10.2%減の56億85百万円となる見通しです。利益面では円安による国内拠点卸売事業における海外仕入コストの上昇、消費税による商品パッケージ入替、ラベル張り替えなど対応費用の想定を超える支出や、小売事業における店舗改装費用の支出もあり、営業利益は当初予想から9.0%減の3億16百万円、経常利益は3.3%減の3億20百万円、当期純利益は4.5%減の1億92百万円となる見通しです。

個別業績予想についても上記の国内拠点卸売事業における状況により、売上高、各利益ともに当初予想を下回る見通しとなりました。

なお、配当予想については現段階で修正はございません。

(注)本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき将来予測を判断した見通しであり、実際の業績等は、今後の業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上